

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
国際法	<秋集>		LAW2500	火2・金1					

【教員氏名】
 軽部 恵子

【単位数】
 4 単位

【授業形態】
 『講義』

【講義・演習概要】

この講義では、国際法の基礎を学びます。国際法がわかると、新聞やテレビの国際ニュースがわかるようになります。それは、国際法が国家の行動を規律する世界共通のルールだからです。国際法の理解には世界史の知識が重要です。履修予定の人は春学期の国際機構論をなるべく先に履修してください。導入部分（第2回から第6回）は国際機構論と似ていますが、国際法の視点で見直すので、国際機構論と内容は異なります。講義冒頭には、国内外のメディアのホームページを用いて、メディア・リテラシーも学びます。

【学習（到達）目標】

- (1) 国際法の基礎知識を習得する。
- (2) 国際法の視点から国際ニュースを考察する。
- (3) 国際問題の理解に必要な一般教養（歴史、地理、文化、宗教など）を身につける。

【講義・演習計画】

- 第1回：国際法とは何か
- 第2回：戦争と平和の法(1) 宗教改革から三十年戦争へ
- 第3回：戦争と平和の法(2) アメリカ独立戦争とフランス革命
- 第4回：戦争と平和の法(3) ナポレオン戦争とウィーン会議
- 第5回：戦争と平和の法(4) ハーグ平和会議
- 第6回：戦争と平和の法(5) 赤十字国際委員会の設立
- 第7回：国際法の重要原則(1) 合意は拘束する
- 第8回：国際法の重要原則(2) 国際法と国内法の関係
- 第9回：国家(1) 国際法上の国家
- 第10回：国家(2) 属地主義と国籍主義
- 第11回：国家(3) 犯罪人引渡
- 第12回：国家(4) 領域① 領域の得喪
- 第13回：国家(5) 領域② 日本の領域
- 第14回：国家(6) 領域③ 領土紛争
- 第15回：国家(7) 領域④ 無害通航権
- 第16回：国家(8) 領域⑤ 通過通航権
- 第17回：国家(9) 領域⑥ 持続可能な海洋資源の利用
- 第18回：国家(10) 領域⑦ 領空
- 第19回：国家(11) 領域⑧ 宇宙空間
- 第20回：国家(12) 国籍
- 第21回：条約(1) 条約案の交渉
- 第22回：条約(2) 署名と採択
- 第23回：条約(3) 批准
- 第24回：条約(4) 効力発生
- 第25回：条約(5) 無効と終了
- 第26回：条約(6) 条約と国内法の関係
- 第27回：特別テーマ(1) 日本国憲法と日米安保条約
- 第28回：特別テーマ(2) 終戦と国際法
- 第29回：特別テーマ(3) 核軍縮の国際法
- 第30回：試験とまとめ

【成績評価の方法】

試験評価：100% レポート：0% その他：0%
 授業で出席票を配布するのは受講生が質問等を書くため、成績評価にはいっさい関係ありません。授業中に行う確認テストは成績評価にいっさい関係ありません。

【テキスト】

『国際条約集2020』（有斐閣）

【参考文献】

- 大沼保昭『国際法』筑摩書房 2018年
- 浅田正彦編著『国際法』第4版 東信堂 2019年
- 庄司真理子・宮脇昇『新グローバル公共政策』改訂第1版 晃光書房 2016年
- 島田征夫編著『国際法学入門』成文堂 2011年
- 杉原高嶺『基本国際法』第2版 有斐閣 2014年

【事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間 事後学習 60 時間）】

毎回、指定された参考サイトで予習・復習してください。

【その他備考（担当教員用）】

教科書は第5回から毎回使います。教科書を持参しない学生や、指定された出版社・版を持っていない学生に対する配慮はありません。